



# AtScope

アーキテクト

## 全体俯瞰

ソースコード全体を  
ひとつの図面で表現

## 設計とコード の同期

図面とソースコードを  
一体化した開発

## 劣化検知

設計構造の劣化を  
図面とスコアで把握

## AtScopeの活用例

もっと速く  
もっと楽に！

ソースコードしか無くても

既存コード開発の効率化

設計意図が見えてくる

設計レベルの改善ができる

アーキテクチャを活用して

ソフトウェアの資産化

プロダクトライン開発ができる

部品化再利用ができる

要求が変化する場合でも

アーキテクチャ中心開発

変化に素早く適応できる

安定品質でリリースできる

## バージョン7

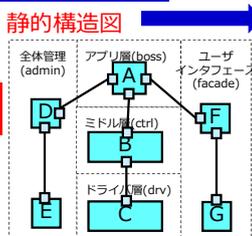
### テスト支援機能

- 関数複雑度の計測
- 結合テスト効率化(RITMUS法)
- ※保守期間中のみ利用できます

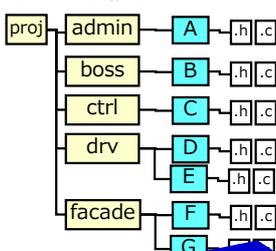
要求者と開発者が図面で  
会話ができます

## AtScopeの主な機能

### アーキテクチャ



### フォルダ構成



### 全体俯瞰



配置を保存

劣化検知

階層飛び  
越え

循環依存

設計と  
コードの  
同期

### ①アーキテクチャ構造

フォルダ単位

### ②ファイル構造

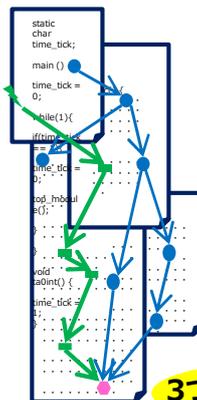
ファイル単位

### ③モジュール構造

関数と変数の単位

3つの粒度で図面化

### ソースコード



設計改善へ

### ④リファクタリング スコア

| スコア目安    | コメント      |
|----------|-----------|
| 80点~100点 | 他の人でも変更可能 |
| 60点~79点  | 引継ぎ可能     |
| 0点~59点   | 引継ぎ期間が必要  |
| マイナス点    | 他の人では修正困難 |

# AtScopeの販売形態と価格

| エディション種別 | 対応言語                     | ユーザライセンス               |      | フローティングライセンス |       |
|----------|--------------------------|------------------------|------|--------------|-------|
|          |                          | 購入                     | 年間購読 | 購入           | 年間購読  |
| スタンダード版  | C言語                      | 100万円<br>[年間保守料20万円含む] | 50万円 |              | 120万円 |
| マルチ言語版   | C言語<br>C++<br>Java<br>C# | 160万円<br>[年間保守料32万円含む] | 80万円 |              | 180万円 |

「ユーザライセンス」は、お一人で使用する2台までのPCにインストールしてお使いいただけます。  
「フローティングライセンス」は、同時利用1人のライセンスです。

「購入」は、次年度以降も「年間保守料」にて最新版提供などの保守サービスをご提供いたします。  
「年間購読」は、1年間の利用権です。「年間購読」を継続することで、翌年もお使いいただけます。

年間保守料には、次の保守サービスが含まれています  
(1) テスト支援機能のご利用  
(2) 操作方法のご質問へのメールでの回答  
(3) 紛失・破損時のメディアの再発行

## AtScopeの機能概要

| 解析種別      | 出力図面        | 機能概要  | 活用例                                      |
|-----------|-------------|---|--|
| アーキテクチャ構造 | コンポーネント構造図  | フォルダ単位の構造図を出力します。<br>アーキテクチャ設計の静的構造図に相当します  | アーキテクチャ形状に再配置することで、<br>設計意図を明示できます。      |
| ファイル構造    | ファイル見取図     | ファイル単位の構造図を出力します。<br>オブジェクト指向設計のクラス図に相当します。 | 見取図で改善対象を検出し、構造図で<br>ファイル間インタフェースを設計します。 |
|           | ファイル構造図     |   |  |
| モジュール構造   | 関数構造図[変数起点] | 関数と変数の構造図を出力します。<br>構造化設計のモジュール構造図に相当します。   | 変数起点でグローバル変数を検出し、<br>関数起点で階層構造を改善します。    |
|           | 関数構造図[関数起点] |   |  |
| スコア       | リファクタリングスコア | 構造設計のスコアを算出します。<br>100点満点での減点方式です。          | 定期的に計測することで設計構造の崩れ<br>を検知することができます。      |

「マルチ言語版」は、変数アクセスの解析はしません。

依存線はメソッドコールのみで、変数アクセスは図面化されません。

また、メソッドコールは、インスタンス変数がないと依存線は図面化されません。

※変数はクラス内にカプセル化されていることを前提としています。

## 特徴と制約

### ■特徴

AtScopeはソースコードを「柔軟に解析」しています。  
コンパイルが通らない状態でも構造図を出力することが出来ます。  
(1) 事前の煩わしい設定は一切不要です  
(2) プロトレベルの骨格ソースコードでも構造図を出力できます  
(3) フォルダを新設して（パスが合っていないくても）解析できます

### ■制約

コード解析に関する主な制約事項は以下の2点です。

1. マクロは解析対象外です
2. typedefは、変数とみなされない場合があります
2. マルチ言語版は、インスタンス変数がないと構造が生まれません

解析対象ソースコードを（一時的に）修正し、お使いください。  
コンパイラレベルの「厳密な解析」が必要な場合は、他のツールとの併用をお勧めします。

## 動作環境

AtScopeはEnterprise Architect上で動作するアドインプログラムです。  
※Enterprise Architectの購入は、スパークスシステムズジャパン株式会社にお問い合わせください。

## お問い合わせ

AtScopeのお問い合わせは [support@bslash.co.jp](mailto:support@bslash.co.jp) までメールで連絡ください。

短期間の無料**トライアル版**もございます。

お気軽にお問い合わせください。